

2015年2月25日

各位

三井化学株式会社

## 2015年4月全社組織改正について

三井化学株式会社（社長：淡輪 敏）は、14 中期経営計画（以下：14 中計）における事業戦略、新事業・新製品創出戦略及び事業支援戦略の加速に向け、2015年4月1日付にて、下記のとおり全社組織改正を行います。

### 記

#### 1. 組織改正の主目的

- (1) 事業領域を14中計に沿って区分し、事業戦略を確実に実行する。
- (2) 業務の効率化及び部門間調整削減による支援機能の強化と意思決定のスピードアップ。

#### 2. 組織改正の内容

##### (1) 事業本部

内容	① 機能化学品事業本部の精密化学品事業部を基礎化学品事業本部へ、ライセンス事業部を石化事業本部へそれぞれ移管する。 ② 機能化学品事業本部の三井化学アグロを本部レベル組織とする。 ③ 機能化学品事業本部の名称を「ヘルスケア事業本部」に変更する。
目的	14中計における事業領域に沿った組織に再編することで、事業戦略の確実な実行を図る。

##### (2) R&D 部門

内容	R&D 戦略室、三井化学シンガポール R&D センター、各研究所（合成化学品、高分子材料、機能材料、新事業開発、生産技術、先端解析）及び R&D 管理部を統括する「研究開発本部」を新設する。
目的	R&D 部門を一元的に統括する機能を設置することで、各研究所間の連携を推進し、新事業・新製品開発テーマの創出と確実な事業化を加速させる。

(3) 生産・技術、安全・環境、RC 品質保証及び内部統制

内容	① 安全・環境企画管理部の監査に関わる機能と RC・品質保証部の監査機能を統合して、内部統制室に移管（内部統制室に安全監査Gを新設）する。 ② 安全・環境企画管理部の環境安全機能を生産・技術本部内に移管し、「安全・環境技術部」を新設する。 ③ 安全・環境企画管理部の化学品安全に関する機能（化学品安全センターを含む）を RC・品質保証部に移管する。 ④ 以上①～③により、安全・環境企画管理部を廃止する。
目的	・ 監査機能を統合して、ガバナンス機能を強化する。 ・ 生産・技術本部が担っている生産・技術機能と環境安全に関する機能を一体とすることで、安全の取り組みを強化する。 ・ RC・品質保証部の品質マネジメントシステムに化学品安全機能を付与することにより、医療機器等製品への対応を強化する。

(4) SCM、業績管理、財務

内容	SCM 推進部、業績管理部及び財務部を統合し、「経理部」とする。
目的	SCM を含めた統合による業績管理機能の強化及び事業支援機能の効率化。

(5) IR・広報、CSR

内容	IR・広報部と CSR 部を統合し、「コーポレートコミュニケーション部」とする。
目的	社内外に対するコミュニケーション機能の集約による効率化。

(6) 総務、法務

内容	総務部と法務部を統合し、「総務・法務部」とする。
目的	統合による業務効率化。

(7) 加工品事業支援センター（新設）

内容	「加工品事業支援センター」を新設する。
目的	加工品事業（フィルム・シート、不織布）に関し、三井化学グループ全体の視点で、研究開発、生産技術及び人材育成に対する支援を統括する組織を設置することで、新規加工品の早期事業化、技術・設備の革新、人材の育成・活用等を通じ、事業間シナジーの追求、事業拡大を図る。

(8) フード&パッケージング室（新設）

内容	「フード&パッケージング室」を新設する。
目的	「14 中計におけるフード&パッケージング戦略の推進」及び「三井化学東セロと三井化学アグロに対する三井化学本体としての企画管理機能」を担う組織を設置することにより、14 中計の全社基本戦略の加速とグループ横断的なシナジー効果の確実な実現を図る。

※改正後の全社組織表については、別紙をご参照下さい。

以上